

2020年1月31日
株式会社日立製作所

豊島区立要小学校にて出前理科教室を実施

株式会社日立製作所(以下、日立)は、1月21日に豊島区立要小学校の科学クラブ活動において「水の循環～未来の水のためにできること～」をテーマとした出前理科教室を実施しました。本授業は、池袋事業所が地域貢献の一環として、子供たちに理科の楽しさを伝える目的で、豊島区立小学校の科学クラブを対象に2007年から実施しているものです。

当日は、水資源や水の循環についてクイズを交えながら学んだ後、ペットボトルで作成したろ過装置と膜ろ過による水の浄化実験を行いました。子供たちは、汚れた水をろ過し、浄化されていく様子を真剣に観察しており、きれいになった水に感嘆の声が上がっていました。また、初めて見る膜ろ過装置の仕組みについて積極的に質問するなど、興味を持って楽しく学ぶ姿がうかがえました。

日立は今後も、このような活動を通じ、次世代を担う子供たちに向けて水や環境の大切さについて学ぶ機会を提供していきます。

以上



水資源について学ぶ子供たち



ペットボトルでろ過装置を作成する様子



MF(Microfiltration Membrane)膜を使用したろ過実験